

# 転載

## 先達はあらまほしき

(医) 真人会たむら医院 田村 正枝  
(吉南医師会報 令和5年4月号より)

ついに…こんな表題の依頼が来たのか！

思えば、吉南医師会に入会して37年、開業して30年の節目に当たる今年に、原稿依頼が来たのも何かのご縁と思われます。気が付くと、先輩の先生方も数えるほどになり、ああもう年なんだと感じる今日この頃です。

入会時は、女性医師も2-3人しかおられなかったと記憶しています。その当時の医学部女性割合は1割程度で、今はほぼ5割と聞いています。県医師会の女性医師部会(のちの男女共同参画部会)にも出務させて頂き、女子学生のインターンシップ活動などさせて頂きました。その当時は、安倍総理の発案で、30・30運動(2030年までに、女性指導者の割合を30%に)で、日本医師会の会議に出席させて頂いたこともあります。

とはいえ、私自身あまりお役にも立てず、自分自身の事で精いっぱいのもあり、ふがいない思いです。しかし、吉南医師会にも女性医師が増え、後輩の頼もしい先生方には、心から頭が下がる思いです。特に県医師会理事として藤井郁英先生が活躍されているのは、うれしい限りです。県医師会には他にも、大学の後輩にあたる國近先生と、前川先生、長谷川先生と四人も女性医師が参加されていますので、女性目線での活発な意見を交わされているのではと、想像いたします。

男女共同参画とか、LGBTとか、性差を越えた社会での活躍が今後も期待されます。小学生の頃だったか「男らしさ、女らしさ」というような文章を私自身で書いた記憶があるのですが、もはや死語に近い感じです。若いスタッフと話をしていると、夫婦で役割分担を決めており、妻が食事を作って、家で待っている…なんて、今や妄想の世界の様相です。

女性医師が仕事を続けていくためには、やはり周囲の協力が必要です。特に子供が小さいうちは、勤務体制も整えて頂きたいし、男性医師も思い切って育児休暇をとることも大切です。今後、育休の改正もあり、今まで以上に協力体制が築きやすくなるのではと期待しています。昔は育休なんてなかった…と嘆いているのは、私たちおばさんのみで、若い人の権利の主張は著しく、スタッフをお持ちの先生方には頭の痛い問題ですが、日本を救うという観点から、重要な事で、是非とも上司のご協力も必要です。

仕事もして、育児もして、家事もこなし、嫁の役目も果たして…なんてことは、昔話です。仕事面でも、私たち世代はがむしゃらに働いてきた感がありますが、最近の人の考えは、半分仕事、半分プライベートと考え、職場を選ぶ際には給料より、休暇の取りやすさを優先しているようです。私たち以上の先輩先生方には想像もつかない世の中になってきており、昔は…という、昔と違います！とスタッフに怒られます。

家庭では妻に気遣い、職場ではスタッフに気遣い、癒してくれるのはペットの犬だけ…なんて笑い話も他人ごとではない世の中です。女性はズンズン強くなり、進化し、男性化しており、これからは男性の事を気遣わなければ…なんて！と書けば、まだまだ医師会では怒られそうですが、女性はおばさんになるとますます男性ホルモンが増える、と聞いています。最強です！

投稿の趣旨から随分遠ざかりました。とにかく、昔はよく働きました。しかし、よく飲みにも行きました。時間はみな同じですが、のんびりした事はあまりなかったかもしれません。その癖が今でも抜けずに、“何かしていないと”という病に侵

されています。医師会の役をやっと降りた数年前から、やたらと体を鍛える方向に行っています。夜は週5回ジムに通い、若者に交じりエアロビクスに興じています。脳トレにとっても良くて、振りを覚えるのには自信があります。脳と体を同時に使うのが、ボケ防止にいいと思っています。家事は必要最低限に抑えて、仕事も頑張っています。医院の仕事に、サ高住の仕事に、特養の仕事に、その他もろもろ、夜中でも呼び出しに走っています。

そんな忙しく仕事をするのは、もう若い人はしないよ！と言われ、確かにそうかもね、楽な仕事を選ぶよね、と思います。しかし私は、あともう少しだけ悪あがきをするつもりです。周りを見ても女性医師の方がパワーがあると思います。

私には学問的に誇れることは何一つありませんが、とにかく43年間、元気に仕事を続けて、少しでも世の中の役に立てればと思うばかりで過ごしてきました。それが生きがいであり、やりがいであり、生きている証しと信じています。

老婆心ながら、これからの若い先生方のご活躍を祈ってやみません。心も体も技も鍛えていきましょう。

## ○推薦者のコメント○

ご自身がこんなに頑張っておられるからこそ、人や世の中に対して、率直で優しい見方ができるのだと理解できました。遅まきながら、年5のジム通いを月5にして鍛えていきます！

[常任理事 長谷川奈津江]

## 山口県医師会メールマガジンのお知らせ

山口県医師会では、メールマガジンにより会員の皆様へより多くの情報をお届けいたします。ぜひ、ご登録をお願いします。

メールマガジン配信をご希望の方は、①又は②の方法でご登録ください。

### ①スマートフォンの方

右のQRコードからアクセスし、必要事項を入力してください。



### ②パソコンの方

yamajoho@yamaguchi.med.or.jp へメールをお送りください。

(折り返し、登録に関するご案内をお知らせいたします。)

- ・本メールマガジンは配信専用です。
- ・ご連絡いただきましたメールアドレスは本事業でのみ利用し、他に提供はいたしません。